

たんぽぽ組になって1カ月が過ぎました。初めてのことでばかりで緊張していた子どもたちですが、園生活にもだんだんと慣れ、毎日元気いっぱいにごしています。



<身支度>

登降園時、所持品の始末や着替えを行っています。保育者がやり方を伝えたり、一緒に行ったりすることで、自分でできることが少しずつ増えています。自分でできた時には「できた!」と笑顔で教えてくれます。自分で挑戦しようとする意欲を大切にしながら、励ましたり、自分でできた嬉しさに共感したりすることで、子どもたちの自信に繋がっていきます。



<粘土遊び>

粘土の感触を楽しみながらみんな夢中になって遊んでいます。こねたり、丸めたりしていくうちにいろいろな形ができてきました。「おだんこ作った」「へびできたよ」などと、作ったものを友達や保育者に楽しそうに見せていました。自然にできた形から想像をふくらませたり、自分の思いを形にしたりする楽しさを味わっていきます。

たんぽぽだより

春日こども園

令和7年度 活動報告 NO.1



<給食>

自分で給食の準備を行い、食事の前後には挨拶をして、給食を食べています。苦手な食べ物も一口は食べられるよう、励ましたり頑張りを認めたりすることで、自分から食べようとする姿が見られるようになってきました。全部食べられた時には、「ピカピカだよ!」と嬉しそうに完食したお皿を見せてくれます。これからも楽しい雰囲気の中で食事ができるようにしていきます。



<ゆり組さんが歓迎会を開いてくれました>

最初は緊張していた子どもたちですが、やさしく声をかけてもらったり、ふれあい遊びをしたりするうちに笑顔になりました。最後にゆり組のお姉さんお兄さんから、折り紙で作ったたんぽぽのプレゼントを貰うととても嬉しそうでした。今後も、異年齢交流の機会を大切に、思いやりや憧れの気持ちをもてるようにしていきます。



<戸外遊び>

園庭の遊具では安全な使い方など遊ぶ時の約束を伝え、一人一人がルールを守って楽しく遊べるようにしています。砂遊びではカップにいれたごちそうを「いらっしゃいませ!」とお店屋さんになりきって友達に渡したり、砂で作ったケーキなどに草花を乗せたりして、それぞれ好きな遊びを見つけて楽しんでいます。「ケーキどうぞ」「ありがとう」など友達同士でやりとりを楽しむ姿も見られます。遊びを通じてルールを守る必要性に気づかせていきます。



<4月誕生会>

みんなの前でクラス・名前・何歳になったか・好きな動物を緊張しながらも発表することができました。友達に誕生日の歌を歌ってもらい、「おめでとう!」と言ってもらうとても嬉しそうでした。保育者からの出し物では、大型絵本を見たり、一緒にリズムダンスを踊ったりしてみんなで楽しく過ごしました。毎月、誕生会ではみんなの前で発表したり、保育者からの出し物を楽しんだりしていきます。